

## レポートNo.6

このレポートは作品制作です。スクーリングでは、作品の作り方を説明しますが提出はしません。次のことに注意して自宅で作品制作をし、それをレポートに添付して提出してください。

問一	<p>2種類の「雨の日は雨を愛そう」があります。</p> <p>「線が太い、細い」「字が大きい、小さい」というようなことだけではなく、作品から受ける印象、例えば「力強い」「やわらかな雨」「梅雨真ただ中」「夏の夕立」など想像をふくらませて考えてみましょう。</p> <p>①か②どちらか好きなほうに○をつけてください。</p>
問二	<ul style="list-style-type: none"><li>●漢字仮名交じりの書の作品を作ってください。漢字仮名交じりの書とは、文字どおり漢字と仮名が交じっている文章のことです。題材としては、松阪高校の校歌を使用します。</li><li>●作品のサイズは半紙～半紙1/2の間で大きさ・形・材質・色(・がら)は自由です。</li><li>●文字数は十文字以上必要です。</li><li>●誤字・脱字があってははいけませんし、文字の書き換えをしてもいけません。</li><li>●出典とは、小説・詩・俳句・短歌ならタイトル・作者、歌詞なら歌のタイトル・作詞者、格言はその言葉を言った人物のことです。 ここでは、校歌の作詞者、作曲者、題名です。</li><li>●紙面構成とはこういう作品になるという、完成予想図のようなものです。レポートには紙の大きさを四角く線で示すとありますが、紙を丸や、その他の形にするときは、そのようにしてください。そこに文章を作品らしく構成して下さい。→それを元に作品制作します。</li><li>●落款とは、名前などのサインのことで、本文より小さく書きます。  例) 松阪高等学校校歌花子書   などです 花子のところには自分の名前を入れます。苗字は省き、名前だけを使います。山本書のように苗字だけを使うことはありませんし、山本花子書とフルネームで使うこともありません。</li><li>●クラスは必要ありません。</li><li>●「書」のあとに印(はんこ)を押すことを想定して、落款の位置を決めます。  は作品に筆で書かずに、持っていれば、ここに作品用の印を押してください。</li><li>●作品制作をするときは紙のサイズ・文字数に応じて使用する筆を変えてください。(小筆か大筆か根元まで下ろしてある小筆か等)</li></ul>

	<p>●本文も落款も同じ筆で書いてください。</p> <p>●墨色・書体・書風は自由です。皆さんの個性がでるように工夫してください。また、字の上手・下手ではありませんのでぜひ楽しい作品を作ってください。</p> <p>最後の締めくくりのレポートです。楽しんで取り組んでくださいね。 また、わからないことがあれば、いつでも職員室に質問に来てください。</p> <p>① 作品にする言葉を正確に書いてください。 ② 出典を正確に書いてください。(①②とも記入漏れは再提出になります。 ③ 構成を考えて書いてください。それを元に作品制作をしてください。</p>
問 三	<p>① 自分が思ったことをたくさん書いてください。 ② 教科書・学習書を参考にしつつ答えてください。答えが合っているかとか間違っているかとか気にせず、自分の考えを書いてください。一生懸命考えて答えることが重要です。</p>
問 四	<p>松阪高校校歌の歌詞は、学習のしおりの表紙裏に載っています。丁寧に書いてください。</p>
<p style="text-align: center;">一年間お疲れ様でした。これでレポートは終了です。 作品を添付するのを忘れないでくださいね。 作品が自分のお気に入りになって、部屋に飾れるといいですね。</p>	